

平成 24 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	評価責任者 (基本施策主管課長)	教育委員会中央公民館長 児玉 泰清
生活課題	何歳になっても役割があり、退職者や高齢者が生きがいを持って暮らしている		生活課題に対する満足度 H27目標値	55.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	意欲
	策	生涯を通じて生きがいを持てるまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>市民意識調査によれば、本基本施策の必要性は平均よりも高いが、満足度はほぼ平均にあり、更に向上させる余地がある。公民館が独自に公民館講座・教室の参加者を対象に行った調査によれば、いずれの公民館も90%以上の参加者が「大変満足している、満足している」とする結果が出ている。また、生涯学習アンケートによると生涯学習を行いたい理由については、「生きがいをもつため」が過半数をしめ、「健康維持や体力づくりのため」、「友だち、仲間づくりのため」と続いている。講座、教室の開催や内容、実施条件等の周知が不十分であり、評価が低ものとする。</p> <p>参考 満足度（満足意識） 27.8 % 必要度 85.0 %</p>
③	基本施策の現状と課題	<p>満足度を更に向上させる</p> <p>①講座・教室は3年で見直し内容変更を行っているが、必ずしも市民の要望沿うものばかりではないため更に魅力のある講座・教室を企画、検討していく。</p> <p>②講座や教室は広報誌やチラシ、防災行政無線等により周知を図っているが、現状では講座参加者の募集時期に限られている。講座紹介等の紹介を行うなど講座等への関心を喚起する必要がある。</p>
④	基本施策の意図、今後の展望	<p>公民館講座や市民大学講座をより満足度の高いものとする</p> <p>①公民館相互や生涯学習課と連携し、講座や教室の運営内容についてアンケート等により情報を得るとともに、開催時間の検討を行うなど市民の必要とする講座・教室の運営に努める。</p> <p>②広報誌やチラシなどにより講座の内容、活動状況等を広く市民に周知する。また、伊賀市のホームページの活用について職員の学習会を行い、内容等ホームページ更新についても検討し幅広い学習情報の提供に努める。</p>

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
1 図書カード登録人数	目標	人	25,072.0	25,523.0	33,950.0	26,425.0	27,328.0	
	実績	人	28,539.0	33,938.0				
	達成率	%	113.8	133.0				
2 図書貸出冊数	目標	冊	218,000.0	222,000.0	270,000.0	230,000.0	230,000.0	
	実績	冊	228,336.0	269,991.0				
	達成率	%	104.7	121.6				
3 図書蔵書冊数	目標	冊	180,000.0	185,000.0	270,000.0	195,000.0	205,000.0	
	実績	冊	187,769.0	268,832.0				
	達成率	%	104.3	145.3				
4 公民館(市民大学)講座受講者数	目標	人	4,290.0	4,000.0	8,500.0	4,490.0	4,640.0	
	実績	人	2,386.0	9,530.0				
	達成率	%	55.6	238.3				
	目標							
実績								
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
	目標							
実績								
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
	目標							
実績								
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位
					H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
1	教育委員会 青山公民館	794	社会教育推進経費	無	725	735	735	4
2	教育委員会 生涯学習課	796	生涯学習推進啓発事業	無	2,414	2,808	2,808	1
3	教育委員会 中央公民館(島ヶ原公民館)	843	公民館事業経費	無	3,974	4,032	3,972	1
4	教育委員会 上野公民館	844	公民館活動経費	無	12,125	9,249	9,249	1
5	教育委員会 いがまち公民館	845	公民館事業経費	無	4,977	5,158	5,158	1
6	教育委員会 阿山公民館	846	公民館事業経費	無	7,030	7,212	7,212	1
7	教育委員会 大山田公民館	847	公民館事業経費	無	5,122	5,237	5,237	1
8	教育委員会 青山公民館	848	公民館事業経費	無	8,303	8,926	8,926	1
9	教育委員会 上野公民館	850	分館活動経費	無	10,850	10,850	10,850	2
10	教育委員会 青山公民館	851	分館活動経費	無	3,780	3,828	3,828	2
(以下 続 紙)								
事業費合計					59,300	60,015	273,571	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業（総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業）

事業名	事業主体	事業内容等
社会教育関連情報収集事業	市	市が実施する講座・教室以外に三重県や周辺市町村及び民間が行う社会教育関連事業(イベント、フェスティバルや展示会等)や生涯学習関連の指導者情報を収集し市民の問い合わせに応える等情報提供できるようにする。

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	講座や教室への参加者については、人数に格差があった。講座数や講座参加者の人数だけではなく参加者の満足度も聞き取っていく必要がある。社会貢献の意味からも市民参加、協力による効果的な講座運営に努める必要がある。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	基本施策「だれもが生きがいを持てる機会をつくる」(生活課題 何歳になっても役割があり、退職者や高齢者が生きがいを持って暮らしている)実現のためには6施策では十分といえない。市民の自己実現やボランティア活動等の社会参加の実現等も必要な施策と考えられ、社会教育の分野だけでは実現できるものではなく、生活課題として総合的に取組む必要がある。
3 役割分担の妥当性	公民館講座・教室については同一講座・教室を3年を越えては継続しないとしている。それ以降は自主サークルとして行政の手を離れて自主活動に繋げるよう指導している。また、市民のボランティア活動など地域に密着した市民活動を支援して行くことが今後重要な地域支援策となる。
4 総合評価(今後の方向性、事業の見直しについて等)	<p>①現在公民館に所属するサークル協議会には運営助成しているが旧市町村における助成を踏襲しており公民館によって格差が大きい。そのため、助成金の総額は縮減を図りながら格差の是正に努める。また、市内サークルの連携を図るため連絡会の開催を検討する。</p> <p>②公民館講座・教室の開催数や参加定数に公民館により大きな開きがある。参加者の実績も考慮しながら講座内容等検討する。</p> <p>③ハイトピア伊賀の生涯学習センターを基点として情報発信や、指導者バンク等の整備を行いさまざまなメディアによる生涯学習情報発信の整備に努める。</p> <p>④図書情報の電子化により図書館、公民館図書室等の連携と相互貸借の充実を図る。</p>

⑥ 基本施策構成事務事業の評価（続紙）

	基本施策を構成する事務事業名			改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策 貢献順位
	担当課	I D	事業名		H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
11	教育委員会 上野図書館	1113	上野図書館増築事業	有	0	1,980	199,393	3
12	教育委員会 上野図書館	2436	図書館ネットワーク構築事業	無	0	0	16,203	3
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
事業費小計					0	1,980	215,596	